



しいたけ





朗読音声のダウンロード Audio download

ょ まぇ ★読む前に Before you read

たどく **《多読の読み方》**

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本 ここを身につけていく方法です。

っき 次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

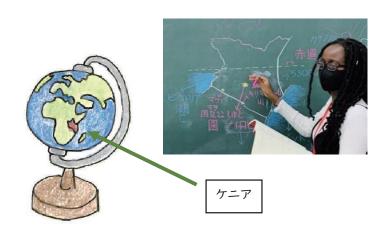
- 1. やさしいレベルから読む
- 2. 辞書を引かないで読む
- 3. わからないところは、とばして読む
- 4. 進まなくなったら、他の本を読む



(How to do Tadoku)

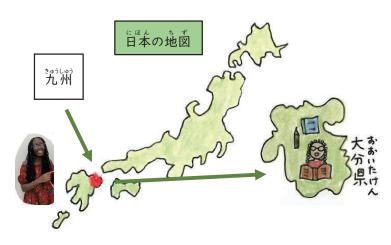
Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

- 1. Start from scratch.
- 2. Don't use a dictionary.
- 3. Skip over difficult words, phrases and passages.
- 4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.



私は、ケニアから来た留学生です。

げんざい きゅうしゅう おおいたけん だいがく べんきょう 現在、九州の大分県にある大学で勉強しています。





きょう にほんご せんせい いき 今日は日本語の先生の家で、パーティーがあります。

thth にほん りょうり つく 先生が、日本の料理を作ってくださいます。

がたし、 りょうり つく てつだ 私たちも料理を作るのを手伝います。





大きだちに聞いてみました。
インドから来た友だちは「覚たことはあります。
でも、名前はわかりません」と言いました。
ウズベキスタンから来た友だちも
「覚たことはあります。でも、食べたことはないです」
と言いました。



わたし せんせい なん 私 は先生に「これは何ですか」と聞きました。

先生は「これは、ほししいたけです。ほししいたけは、しいたけをほしたものです。大分県では、しいたけをたくさん作っているので、今日はみなさんに、しいたけの料理を食べてほしいです」とおっしゃって、料理を作り始めました。





しいたけの料理ができました。柔らかくて、とてもおいしいです。 せんせい 先生が「しいたけは、おいしいだけじゃなくて、とても体にいい ですよ」とおっしゃったので、私もしいたけの料理を作ってみた いと思いました。



先生に「しいたけは、どこにありますか」と聞くと、
「しいたけは、山にありますよ」と教えてくださいました。
私はしいたけを探しに山へ行ってみることにしました。





**
山の中を歩いていると、木がたくさんきれいに並んでいました。
その木をよく見ると、たくさんのしいたけがありました。
**
私は、しいたけを見つけました。





素のところに、おじさんがいました。
私はおじさんに「こんにちは。しいたけがたくさんありますね。
しいたけは、とてもおいしいし、体にもいいそうですから、

私の国に持って帰りたいです。しいたけの木を持って帰ること はできますか。私もしいたけを作りたいです」と言いました。



すると、おじさんは、 $\overline{\mathbf{A}}$ を見て「しいたけが好きなのはうれしいけど、しいたけを作るのは難しいよ。それに、しいたけの木は飛行機に乗せられないよ」とおっしゃいました。

私は「私のお母さんは、庭でトマトやきゅうりを作っているから、しいたけも作ることができると思います」と言いました。



おじさんは「しいたけは、野菜じゃないよ、菌だよ。菌は自に 覚えないから、しいたけを作るのは難しいよ」と説明してくだ さいました。でも、私は「菌」という言葉がわかりませんでした から「菌って、何ですか。しいたけは、野菜じゃないということで すが、それでは、しいたけってどうやって作るんですか」と質問しました。



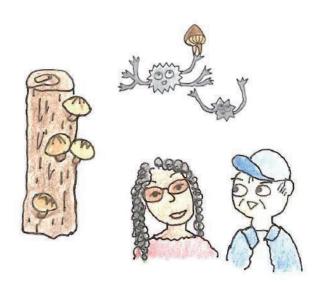
菌とは何でしょうか。菌は、曽に見えないぐらい小さい生き物です。いろいろな菌の働きで、私たちは、いろいろな食べ物を作っています。

*ゅうにゅう きん い 牛乳に菌を入れると、ヨーグルトになります。

また。 麦のジュースに菌を入れると、ビールになります。

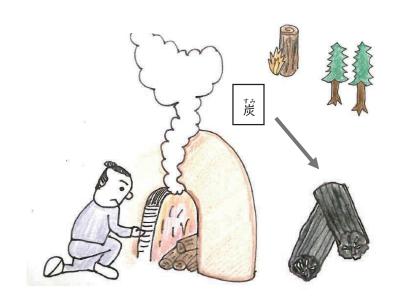


ヨーグルトやビールのように、何かの中に讃を入れて別の たべ物を作ることもあります。しかし、しいたけの讃は、 木から栄養をとって芳さくなったものです。しいたけは、讃だけで食べ物になります。木の中で、しいたけの讃が芳さくなるのです。



おじさんは「しいたけは、菌が木の中に入って、長い時間をかけて大きくなるんだよ。今の大分県では、たくさんしいたけを作っているけれど、むかしは、しいたけを作るのは難しかったんだ」と言って、大分県のしいたけの歴史について話してくださいました。

源兵衛さんとしいたけ





源兵衛さんは、ある日、炭を作るときに使わなかった ざい木に、しいたけがたくさんあるのを見つけました。 でも、新しい木には、しいたけはありませんでした。 が済っているといったけは、いったけは、いったけは、でしたが、たったけは、いったけは、いったけは、いったけは、いったけは、いったけは、いっと思いました。



源兵衛さんは、しいたけがある古い木をよく見ました。古い木には、源兵衛さんが木を切ったときにできた傷がありました。

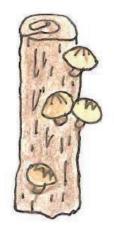
しいたけは、傷のところにありました。



がなべた。 源兵衛さんは古い木の傷のところから しいたけが出ると考え、古い木に たくさん傷をつけて長い間待ちました。

がんべえ 源兵衛さんが思ったとおり、 ^{きず}傷のところからしいたけが出ました。





源兵衛さんが始めた方法で他の人たちも ぶるい木に傷をつけて、しいたけを作るよう になりました。







私は、源兵衛さんはしいたけを作る方法を見つけたから すごいと思いました。

でも、おじさんの話によると、源兵衛さんは麓をまだ知りませんでした。そのため、木に傷をつけても、麓が入らなかったときは、しいたけは出なかったそうです。



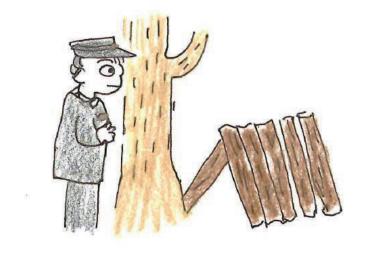
私はおじさんに「しいたけの菌は自に見えないから、源兵衛 さんは菌のことはわからなかったんですね・・・。それでは、 どうして大分県では、たくさんのしいたけが作られるようになっ たんですか。今は、とてもたくさん作られていますよね」 と質問しました。



すると、おじさんは「大分県のしいたけには、源兵衛さんの他にもう一人、大切な人がいるよ。しいたけの作り方を簡単にした 森喜作さんという人だよ」と言って、私に森喜作さんの話をしてくださいました。

もりきさく 森喜作さんとしいたけ

80年ぐらい前のことです。ある大学生が大分県の ***
山の中を歩いていました。大学生は、しいたけの **
木の前で、一人のおじいさんが大きな声で泣いているのを見ました。





おじいさんは「しいたけ、出てくれ。しいたけが出ないと、 私がこの対から出て行かなければならない」と言って泣いていました。

おじいさんは、村の人たちにお金を借りてしいたけを作っていましたが、しいたけが出ないと、村の人たちにお金を返すことができないのです。

23



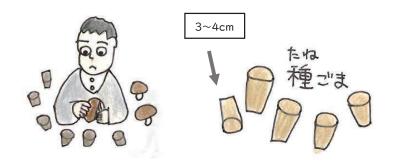
おじいさんは、村から出て行くと、生活できなくて死んでしまうかもしれません。大学生はおじいさんの話を聞いておじいさんのことがとても心配になりました。
どうすれば、しいたけを作ることができるでしょうか。



大学生は大学で農業を勉強していたので、 おじいさんのような人たちを助けたいと思いました。 そして、みんながしいたけを作りやすくするために、 しいたけの菌の研究を始めました。 この大学生が、森喜作さんです。森喜作さんは、顕微鏡で 意んで、毎晩遅くまで研究しました。

そして、菌を小さな棒のかたちにする方法を考えました。 この棒にはしいたけの菌が入っています。

「種ごま」と言います。



たねできると、木に入れやすいです。

もりますがさんは、この方法を使って、しいたけを野菜のように

がないに、たくさん作ることに成功しました。







私は森喜作さんのアイディアに、とてもおどろきました。
そして、困っているおじいさんのために、しいたけを作る方法
を考えた森喜作さんは、とても優しい人だと思いました。
おじさんによると、大分県は、山が多くて、しいたけを作るための木もたくさんあるから、しいたけがたくさん作られるようになったそうです。



私 はおじさんの話を聞いて、大分県のしいたけには、 なが、たきし 長い歴史があることがわかりました。

私が「小さな菌が発きなしいたけになるのは、すごいと思います」と言うと、おじさんは「それでは、今、どうやってしいたけを作っているか教えてあげよう」と言って、しいたけの作り方を説明してくださいました。



しいたけができるまで

しいたけは、クヌギやコナラの木で作られます。

**大分県には、クヌギやコナラの木がたくさんあります。

*木は 10年ぐらいで大きくなります。
しいたけを作るために、まず、秋に木を切ります。
**木を同じ大きさに切って、乾燥させます。



木が乾燥したら、種ごまを木が乾燥したら、種ごまを木に入れます。冬の寒いときに入れます。



次に、種ごまを入れた木を、やまなかならいである。





っき 次の春になるとしいたけが出ます。



しいたけが大きくなったら、とります。そして、乾燥させて、 はししいたけを作ります。乾燥させると、腐らないし、 いつでも食べられます。

おじさんは「ほししいたけなら、軽いから国に持って帰ることもできるよ。国の人たちにたくさん食べてほしい」と言って、私にたくさんのほししいたけをくださいました。



しいたけを作るのは難しいですが、持って帰るのは簡単です。 大分県には、しいたけがたくさんあることがわかりました。

私は、しいたけの料理を作って、国の家族に食べてもらいたいです。そして、どうして大分県では、たくさんしいたけが作られているかを、教えてあげるつもりです。





ちょしゃ わたなべ わか な 著者:渡辺 若菜

きょうりょく 協力:

MUNGAI Salome Ruguru (立命館アジア太平洋大学 留学生)

VALECHA Naman (立命館アジア太平洋大学 留学生)

BOYKHONOV Bobirjon (立命館アジア太平洋大学 留学生)

しゃしんていきょう おおいたけんしいたけしんこうきょうぎかい 写真提供:大分県椎茸振興協議会

http://www.oita-shiitake.com/

ページ:表紙、3、4、5、9、18(しいたけ)8、9、10、20、28、31 (上から3つめ) (森の風景)

イラスト・上記以外の写真:渡辺 若菜

さんこうしりょう

参考資料:

もりさんぎょうかぶしきがいしゃ ・森産業株式会社WEBサイト(創業者・森喜作)

https://www.drmori.co.jp/about/founder/

- ・日本食品標準成分表2020年版(八訂)第2章(データ)きのこ類

https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.html

この本の中のイラストや写真の二次使用を禁じます。

